

2025 年 9 月 10 日

各 位

カナダ CSE 系資本 Soul Capital Partners と
ハイブリッドトレジャリー戦略に関する基本合意
～株式 × ビットコインで、次世代財務モデルを創出～

当社は、このたび、カナダ証券取引所（CSE）上場企業の株主グループである Soul Capital Partners Limited（以下「Soul Capital」）と、ハイブリッドトレジャリー戦略に関する基本合意に至ったことをお知らせいたします。

1. 本合意の背景と目的

現在、世界的に注目されている「トレジャリー戦略」は、各国様々な企業に採用されておりますが、当社が推進するハイブリッドトレジャリー戦略は、法定通貨・株式・暗号資産（特にビットコイン）を組み合わせ、従来型トレジャリーモデルの根本的な課題を解決することを目指す、新しい財務管理手法です。

今回の基本合意では、当社が日本国内の上場企業の株式をソーシング・保有・アレンジメントし、Soul Capital がそれらの株式を精査のうえ、必要に応じて取得を検討することで、今後選定予定の外国資本（なお、当該外国資本の相手先は現時点では未定）と連携して「株式×ビットコイン」という二重収益構造を築くことを目的としています。

2. ハイブリッドトレジャリー戦略の概要

本戦略では、以下のような 3 層構造による財務管理が行われます。

①株式の取得・活用

日本国内の上場株式を対象としたエクイティ投資を通じて、基盤となる安定収益源を構築。

②ビットコインを中心とした暗号資産運用

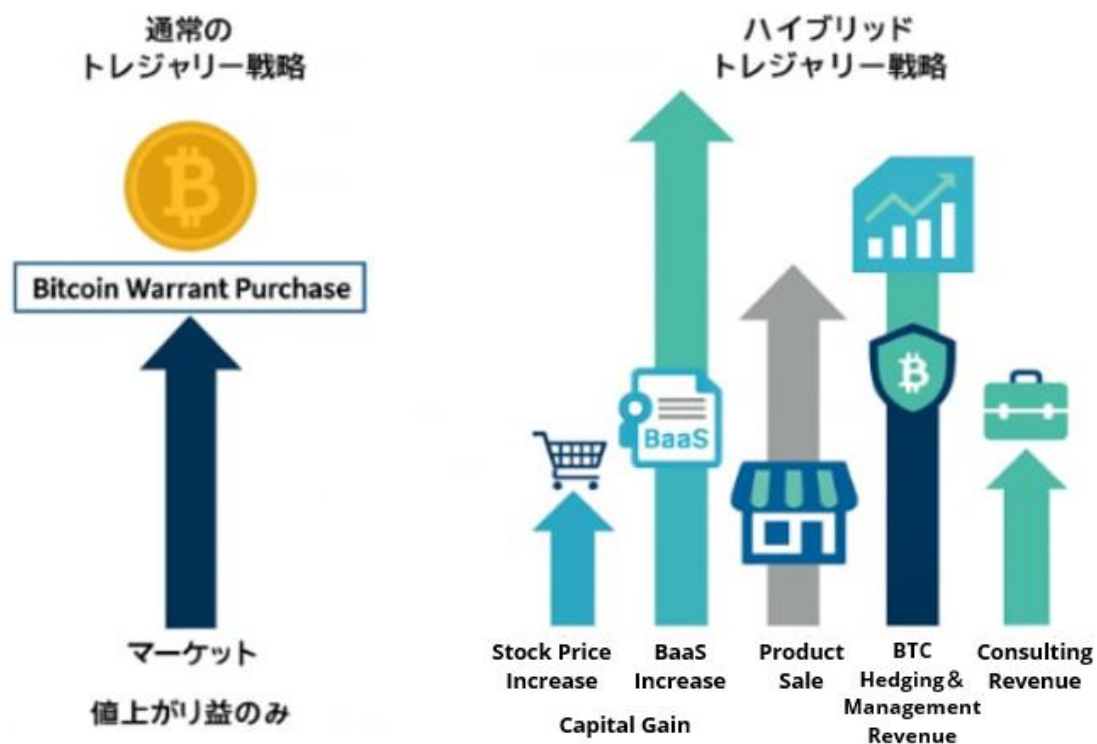
インフレヘッジ資産としての BTC を中核に据え、トレジャリーリスクの分散化を図る。さらに、USD1、WLFI、WWB、\$NYAN など、当社が保有するミームトークンもバスケットに加え、多面的な収益機会を追求してまいります。

③ レンディング・イールド等を活用した副次収益の確保

保有する暗号資産をレンディングやイールド運用等によって有効活用することで、株式発行体に対する財務的支援の質が高まり、結果として発行体企業の企業価値の向上が期待されます。

この企業価値の上昇は、当社および Soul Capital が保有する株式資産の価値向上にも直結するため、双方にとって持続的なリターンをもたらす構造となっております。

このように、「株式による成長性の追求」と「暗号資産による価値保存と収益化」を両立させることで、従来のトレジャリーモデルとは一線を画す、高度で柔軟な資本戦略を実現いたします。



3. 今後の展望

当社は本基本合意を契機として、以下の取り組みを進めてまいります。

- グローバル資本との連携強化

Soul Capital との連携を起点とし、海外機関投資家との関係構築・共同運用の機会を拡大。

- ハイブリッドトレジャリーモデルの DAO 化構想

将来的には DAO（分散型自律組織）による財務運営体制の構築を通じて、透明性・参加性の高い運用モデルの実現を目指します。

- **暗号資産を用いた ESG 型資金調達モデルの設計**

ブロックチェーンの透明性を活用し、サステナブルファイナンス領域における新たな資金調達スキームを構築。

- **ミーム資産を活用した短期戦略の実装**

戦略的ポジションとして、GYAN BLUE（\$NYAM）等のミーム資産に対する短期アロケーションも一部導入し、キャッシュフローの最適化を図ります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこから生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ **abc 株式会社について** <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイ

タイプの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上